

“ティファニー・ブルー”をモチーフにしたベッドルームは、J夫妻がこれまで利用した海外のホテルを参考にデザインしました。ベッドサイドの窓からは美しい山並みを望むことができます。

自然素材でつくりあげた麗しの邸 【紙上見学会 新居浜市・J様邸】

住まい手の美学と 創り手の感性が響き合う スローライフの拠点。

住まい手の美学と造り手の感性、両者が触れ合うことにより唯一無二の空間となったJ様邸。その特徴の一つが、卓越したセンスに裏打ちされた色づかいです。たとえばベッドルームは、ティファニーのキャンパニーカラーである「ティファニー・ブルー」がモチーフ。「ニューヨークに仕事で頻繁に言った頃、なぜかティファニー・ブルーが心に

残りました。その青は、海や空の色にも通じており、自然の色が与えてくれるエネルギーを日常的に感じたいと寝室をこの色でコーディネートしたので、すーとスタイリストとして国内外で活躍されている奥様。住まいのちよūd真ん中にあるクローゼットは、赤を用いています。これは、家の心臓部であることからイメージしました。そして心臓から血液が循環するように、どほかに木々の緑、果実のイエロー、雲の白など、自然からインスパイアされた色を取り入れた邸内は、落ち着きと統一感を醸し出しています。

東京を拠点に、仕事で国内外を飛び回っていたJ夫妻が「ゆくゆくは奥様の実家の愛媛県でスローライフを」と思い始めたのは数年前。当初は10年ぐらい先のイメージで、ゆっくり準備しようと考えていました。ご主人も美しい山並みと水に恵まれたこの地を気に入り、「愛媛で暮らす」ことを将来のビジョンに組み入れていたのです。